



Bruce Huebner

ギャラリーコンサート

秋に奏でる尺八の夕べ

photo: Marty Chappell

10/21 土

定員30名

開場

17:30

開演

18:00

終演予定 19:30

会場：讃岐おもちゃ美術館

高松市大工町丸亀町くるりん駐車場1F

<https://npo-wahaha.net/stm/>



入場料:おとな（中学生以上） 900円
(讃岐おもちゃ美術館入館料)

定員30名、当日入館時にお支払いください。

※このコンサートは中学生以上からご入場いただけます。

※終演後30分間、讃岐おもちゃ美術館をお楽しみいただけます。

このコンサートが観たいと思ったら

★興味あり

を押してね！



・状況により、やむを得ず公演の開催を中止または延期する場合があります。
・発熱や体調不良時には来場をお控えください。
・会場名でのマスク着用は個人の判断となります。咳エチケットや手洗いの励行、手指の消毒にご協力ください。

[詳細・お問合せ]

サンポートホール高松

TEL 087-825-5010

(平日9:00~18:00のみ受付)



主催：公益財団法人高松市文化芸術財団、高松市
後援：高松市教育委員会
協賛：讃岐おもちゃ美術館
協力：高松短期大学

[Bruce Huebner公式サイト]

<https://www.shakuhachibruce.net/>



BRUCE HUEBNER ブルースヒューバナー

ブルースヒューバナー

1960年 米国カリフォルニア州サンタモニカ生まれ。

1983年 カリフォルニア州立大学ノースリッジ校音楽部卒業後に来日。琴古流尺八を始める。カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校東洋学修士課程に入学。

1989年 東京芸術大学邦楽部修士課程に入学。故人間国宝山口五郎氏に師事。

1994年 首席にて東京芸術大学邦楽科修士課程修了。

1995～97年 琴古流尺八リサイタルを行う。

1998年 英語版「ビデオ尺八指南」全三巻を作成。

1999年 国際交流基金の助成を受け「コンテンポラリー三曲アンサンブル」で全米ツアー。

2000年 ジャズピアニスト/作曲家のジョナサン・カッツとジャズミュージックグループ「Candela」結成。

2002年 CD「Mogami」をリリース。「ステレオ」誌が選ぶアルバムベスト5となる。

2004～05年にかけて、ジョナサン・カッツとDuoで、ヨーロッパ、米国、日本ツアーを行う。

2007年 カーティス・バターソン（箏）と、Duo CD「Going Home」リリース。

2007～08年 カート&ブルースで、春は桜前線を追いかけ、秋は紅葉狩りツアーで音楽ツアーをする。

2008年 CD「風紋」「Deep Forest」DVD 教本「ジャズ尺八」をリリース。

2009年 英語版「ビデオ尺八指南-ジャズ尺八-」をリリース。

2010年 カーティス・バターソンとともにVICOと共演。ギター奏者の原とも也とユニット「ZUI」を結成。

2011年 東日本大震災。突如故郷を追われた被災者達に向け、さいたまスーパーアリーナに駆けつける。

2012年 ジャパングレーツ、ロンドン展示会にて出演。英国ウェールズ、カリフォルニア、群馬県等にて、「フクシマに向き合う」コンサート企画参加。

横浜市在住



旅する尺八・・・
尺八を持って旅するとは

巡礼、修行僧、托鉢僧の面持ちを心に抱きつつ、mendicant（修道士）やitinerant（巡回）の折りと通ずるスタイルで、日々一期一会を大切に演奏を届けている。琴古流の繊細で柔らかな室内音楽的技法を用いつつ、時に演奏空間を写實的に、時には自然の色彩を音色に響かせることを得意とする。少年時代にカリフォルニアの自然の中で毎週末演奏していたことが演奏スタイルに影響している。

尺八は楽器の構造上、奏者に負担を強いるものだが、その分、ブルース音楽のように自身の魂の叫びや心の声を、自然と調和しながら響かせるジャンルにとらわれない自由なスタイルを好む。スーザン・オズボーン氏との出逢いをきっかけに、尺八・和楽器の癒しの音色に特化し、ジャンルはとらわれないままに、日々「誰かのふるさと」を心にそっと灯す音色に癒されてほしい。